

男女共同参画社会をめざす情報紙

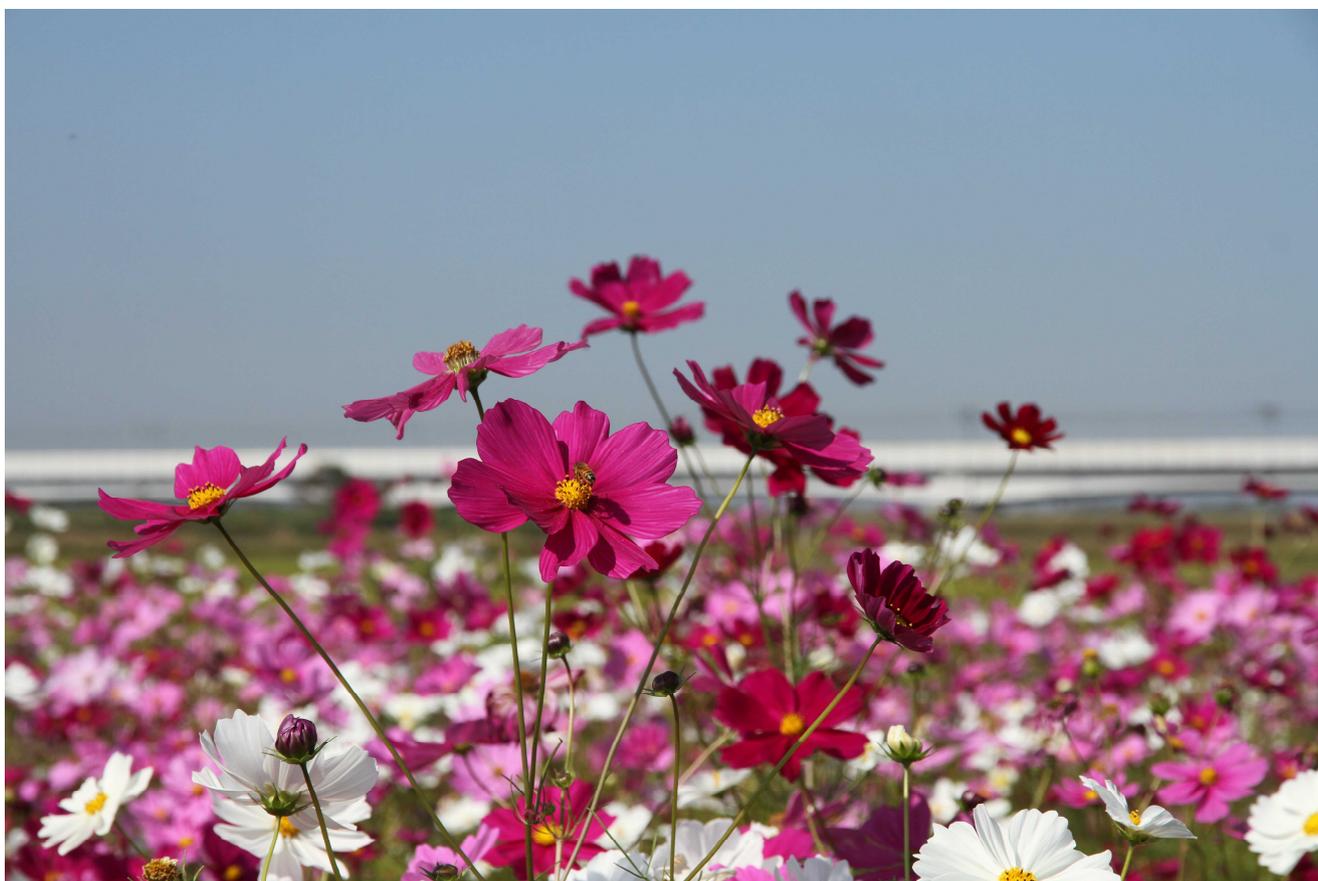
さざなみ



No. 42号 成田市  
2016年11月発行



あらゆるひとを思いやるまち 成田をめざして



甚兵衛公園に咲き誇るコスモス 秋の訪れを感じます。

★Contents(主な内容)★

- ☆ 平成28年度男女共同参画講座開催報告
- ☆ 成田市市民意識調査の結果を読んで
- ☆ さざなみインフォメーション

◆男女共同参画社会基本法5本の柱

- ①男女の人権の尊重
- ②社会における制度又は慣行についての配慮
- ③政策等の立案及び決定への共同参画
- ④家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤国際的協調

# ～平成28度男女共同参画講座開催報告～

## 第1回 男女共同参画セミナー

実施日 平成28年6月26日(日) 13時30分～

講師 内海崎 貴子さん

(川村学園女子大学大学院 人文科学研究科 教授)

テーマ 「今年もっと人とのつながりを深めよう  
～男女共同参画の基礎を学べる講座～」



今年度1回目のセミナーは男女共同参画の基礎を学べる講座として、「関白宣言」(1979年 さだまさし)「関白失脚」(1994年 さだまさし)、「キセキ」(2008 GReeeeN)の歌を取り上げました。歌詞のなかから男女共同の意識の変化を見てみました。

“お前を嫁にもらう前に、言っておきたい…”から始まる「関白宣言」では、歌詞の中にある不平等な部分を指摘。“お前を嫁にもらったけれど、言うに言えない…”で始まる「関白失脚」では男女が自分の心情を吐露していました。社会のつながりにより、色々あるが家族になれて良かったと。内海崎氏は、男女が両足で立ちかけてきていると分析されました。そして呼び方も“お前”から「キセキ」では“君”に変化。さらには“僕は君でなら僕でいられるから”“幸せです”という言葉が並びました。受講者の中には、関白宣言という歌を知らない年代の方もおられました。世界的な流れもあって、確実に男女共同意識が育っている事も感じられました。会場に歌も流れ、懐かしい歌声を聞きながら、和やかな時が流れました。

(佐藤推進員)



## 第2回 男女共同参画セミナー

実施日 平成28年7月23日(土) 10時30分～

講師 村上 誠さん

(NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事)

テーマ 「パパとあそぼ」



『びよ～ん』の絵本をめくると、カエルの絵が! 「真似してみて」と呼びかけられ子どもたちがびよ～んと飛び上がります。絵本に登場する動物を真似て次々飛び上がる子供たちの数が多くなり、声も出始めます。「親子で飛んで跳ねて」と、講師の声掛けでパパ達もはりきってびよ～んと高く跳ねます。聞くことではなく本の内容に合わせて体を動かし、体で感じ取るものでした。自分の子育て時代は、寝かせつける為の読み聞かせでしたが、こんな楽しみ方があることは新鮮な驚きでした。

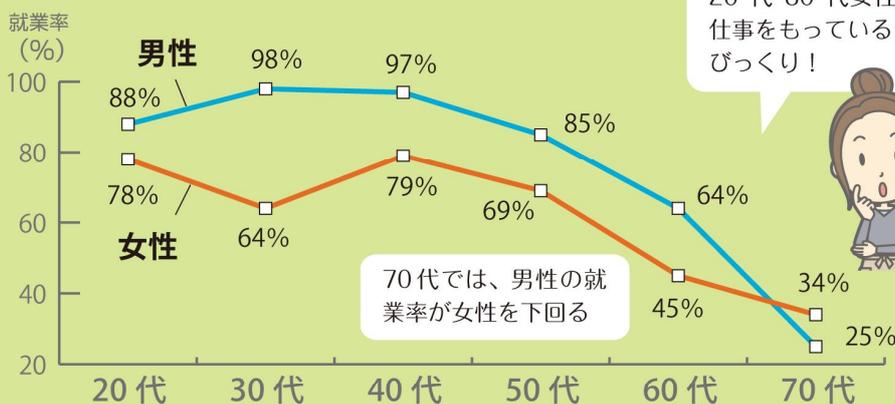


続けて行われたバルーンアートでは、パパ・ママたちが講師の指示で手を動かし、その手先から動物や刀などができてるのを、子どもたちは興味深く楽しく見つめていました。「子どもと一緒に普段はできない遊びができた。家族が密接に過ごせる時間は長いようで短いのでいろいろな形で楽しみたい」「絵本の選ぶ基準等参考になった」などの感想が出されていました。(油田推進員)

# 市民意識調査の結果を読んで

昨年成田市で行われた「男女共同参画社会に関する市民意識調査」の調査報告書の中から、男女共同参画推進員が気になったいくつかのテーマをピックアップして、推進員の感想とともにご紹介します。

## 男性、女性どれくらいの人働いているの？



出産・子育て真っ最中の、20代30代女性の7割が仕事をもっていることにびっくり！

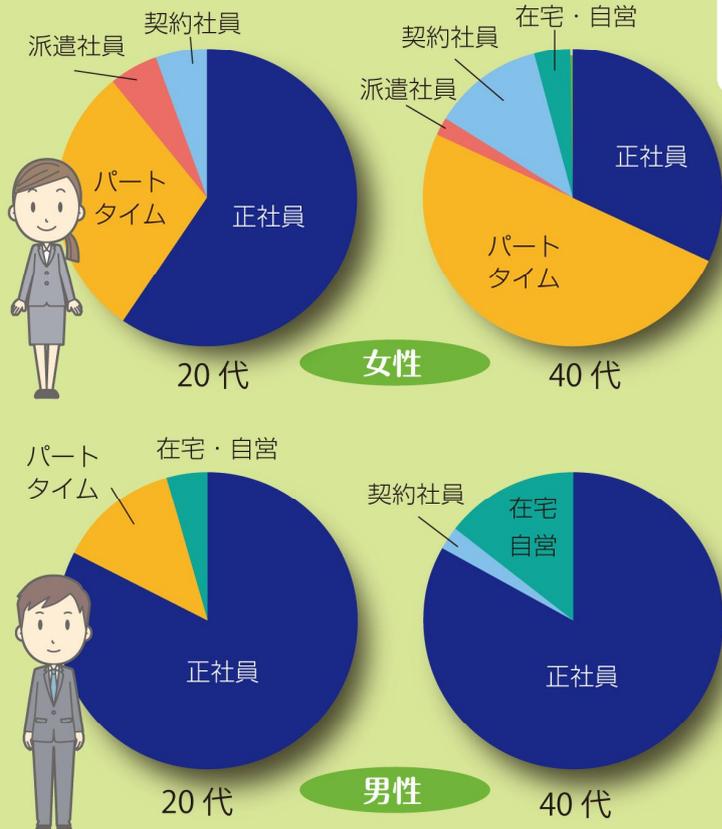
70代になっても女性の34%は働き続けているのね



30代女性の就業率が下がるのは、出産育児のため退職する人が多いからでは。忙しい育児期間でも頑張って仕事を続けている人が、思ったより多いと感じました。

70代では、男性の就業率が女性を下回る

## 男女の働き方の違いは？



家事や育児の負担から、正社員の仕事をやめているのでは？



子どもの帰宅に間に合うように仕事を終えたい人は、パートタイムの方が都合がいいのかも

## 市民からの意見【1】

男女が対等で差別のない社会にするために、どのようなことが必要なのでしょう？

意識調査の自由回答のなかから、いくつかの意見を拾ってみました。

○賃金の平等化が最優先課題と思う。女性が多く活躍する職場の賃金が低く感じる。(女性30代)

○男性と女性はからだの作りが違いうように役割が違おうと思う。男女の協力していく世の中の方がうまくいくと思う。(女性50代)

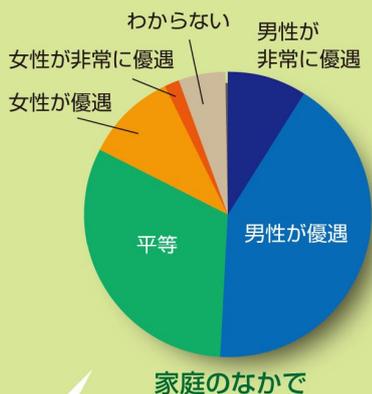
○社会においては男性が優位に立つことは多いが、日常生活においては女性が優遇されることが多いと思う。(レディースデーとか) (男性30代)

男性の20代、40代ともに正社員率が8割以上なのに、女性の場合は20代で6割あった正社員率が40代になると3割に減り、パートタイムが5割を占めるように。

## 男女どちらが優遇されている？

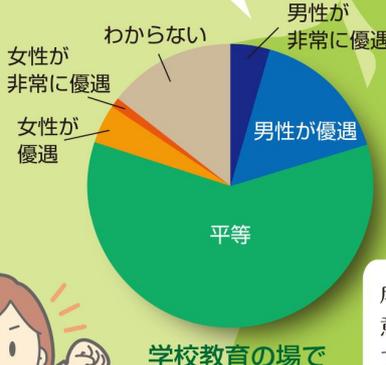
教育費の高さなど経済的な事情が、平等感に影響しているかも…

教育の場では平等だったのに、社会に出るとなぜ不平等感が強くなるのでしょうか？

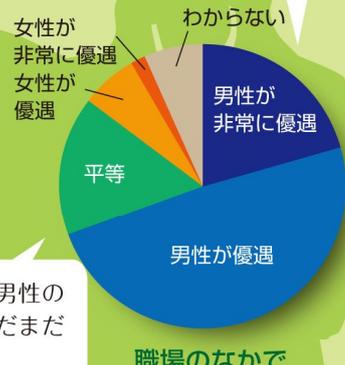


家庭のなかで

男性の協力と理解なしには男女共同は成り立たない！



学校教育の場で



職場のなかで

成田市は男性の意識がまだまだでは？

家庭や職場の現状を変えていくことが大切です

学校教育の場では平等感が高いのですが、社会に出ると男性優遇と感じている人が7割近くに上ります。

職場で平等と感じている人は15%しかなく、給与や昇進などで格差を感じている人が多いのでは。

また、家庭のなかでは、平等と考えている男性が多いのに対して女性は平等感が低く、男女の意識に差があることがわかりました。

### 市民からの意見【2】

- 男性と女性に対等は無理だと思う。(男性40代)
- 社会全体で女性がフルタイムで働いてもしっかり子供を教育できる環境を作るべき。男性の働き方も考えるべき。(女性70代)

成田市 市民協働課  
ホームページでも公開中！

<http://www.city.narita.chiba.jp/sisei/sosiki/kyodo/std0107.html>

男女共同参画市民意識調査

検索

## SAZANAMI INFORMATION

# さざなみインフォメーション

## 『男女共同参画センター』の利用制限に関するご協力のお願い

平成28年9月～平成29年2月にかけて成田市子ども館の外壁修繕工事を実施し、同館が休館することに伴い、当該工事期間中に限り男女共同参画センターの一部を「なかよしひろば」として開設することと致しました。つきましては、同センターのうち、会議室と多目的室の利用に際して、下記のとおり一時使用方法が変わります。何卒ご理解・ご協力の程、お願い致します。

**活動室**：これまでどおりご利用いただけます。

予約方法にも変更はありません。

**会議室**：ご利用予定日の前月5日までの申込・・・利用可

ご利用予定日の前月6日以降の申込・・・利用不可

**多目的室**：ご利用いただけません。

**ミーティング室**：常時開放のフリースペースです。

これまでどおりご利用いただけます。

編集後記：昨年8月に「女性活躍推進法」が成立しました。この法律は、女性の働く意欲を実現につなげ、活力ある社会を維持していこうというものです。独立行政法人「国立女性教育会館」が昨年行った調査によると、「管理職を目指したい」「どちらかという目指したい」とする男性が94%に対し、女性は57.5%にとどまっています。その理由として多く挙げられたのが、「仕事と家庭の両立が困難になる」でした。

この法律を足掛かりに、女性が活躍できる社会、ひいては女性・男性問わずだれもが仕事と家庭を両立しやすい社会の実現につなげていけたら良いと思います。

※さざなみは、市役所支所、公民館、図書館、保健福祉館、三里塚・公津の杜コミュニティセンター、男女共同参画センター、市ホームページ (<http://www.city.narita.chiba.jp>) にあります。